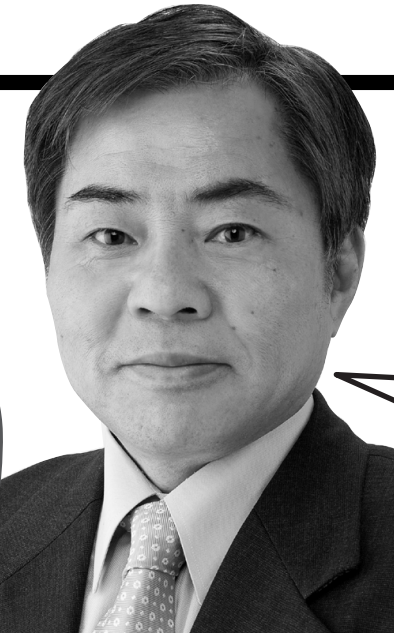


マスコミが報道しない福岡市政の「真実」を、
ドラゴンあらきがズバツと解説！

今こそ「緑の党」を。福岡市に「みどりの政治」を。

あらき ニュース



福岡市議会議員(早良区)

あらき龍昇

〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7

TEL 092-862-8980 FAX 092-862-8985

メール f-lopas@hf.rim.or.jp ウェブ http://www.araki-jp.com/

2013年6月発行 発行元:あらき龍昇



始まる「参加する政治」 市民に政治を取り戻そう！

7月の参院選は、原発の是非、経済と社会保障の方向、外交・憲法の行く末など、これからの日本の未来を左右する重要な選挙です。昨年12月の総選挙では、自民党政権に後戻りしてしまいました。参院選こそ、政治に希望を取り戻すラストチャンスです。

また、福岡市政についても、高島市長は旧態依然の都市膨張政策を続けています。来年11月には福岡市長選、再来年4月には福岡市議選が行われます。国政だけではなく、地元・福岡から市民参加型政治を作っていきましょう。

5 あらき龍昇 つの緊急提言

3 (ワークシェアリングと)
公契約条例制定！
～競争の経済から、分かち合いの経済へ～

1 待ったなしの
行財政改革
「聖域」をなくして、市民参加型での改革を！

4 原発ゼロにYes!
再稼働はStop!

2 「参加する政治」を
始めよう！

5 格差を拡大し、地方自治さえも
崩壊させるTPPに反対！

待ったなしの 行財政改革

「聖域」をなくして、
市民参加型での改革を！

歳出において、人件費、扶助費(生活保護費などの医療費・福祉経費)、公債費をあわせた毎年必要な固定経費を「義務的経費」と言います。この「義務的経費」の割合が福岡市の場合、2000年度は46.2%であったのが、2012年度は57.6%まで膨れ上がっています。市の税収が今後も増える見込みがない中、いわゆる「選択と集中」が重要です。しかしその「選択と集中」は、誰がどのように優先順位を決めるのでしょうか？

高島市長は行財政改革の目標に「市民の納得と共感」を挙げています。しかし、施策の決定過程に市民が関与できる仕組みはありません。

昨年12月に財政局から削減すべき事業として提示されたのは、私立学校の補助の廃止、障がい者・高齢者の補助制度の見直しなど多くは市民サービスの切り捨てです。しかし一方で、人工島事業や五ヶ山ダム建設、焼却場建て替えなど「聖域」を設けています。

★人工島の土地は売れていない。売れない土地は福岡市が次々と購入。このままでは421億円の赤字の可能性。土地を売るためだけに4年間で260億円も補助金を使うような人工島事業は抜本的見直しを！

★福岡市の水の供給能力は77.7万トン/日、使用量は40万～45万トン/日。人口増にもかかわらず10年以上、水の使用量は増えていない。毎年20～30億円も使う五ヶ山ダム建設は必要ない。完成後も維持費だけで3億円/年かかる。

★焼却施設は余っている。福岡市の4工場の処理能力82.7万トン/年、処理量は62.4万トン/年(H23)、南部清掃工場を除く3工場の処理能力は67万トン/年。南部清掃工場の建て替え(建設費166億円)は必要ない。

★クリーンエナジー(東部清掃工場)は九電にお金を貢いでいる。九電は何の負担もなく25年間で約30億円の純利益と余剰職員の雇用ができる。直営で稼働すれば毎年3億円の経費節減ができる。

★七隈線の延伸は福岡市の財政負担を増やす。1.4km、建設費450億円、1mあたり3200万円の費用。費用対効果を考えればもっと別の交通体系を検討すべき。

これらを見直すことなく市民に負担を求めて、はたして市民の皆さんの「納得と共感」が得られるのでしょうか？